

統 括 本 部 報 告

地域本部長会議報告(大熊本部長)

2021年度 第2回地域本部長会議

日 時：2021年9月22日(水)14:30～17:00

場 所：WEB方式(Teams)+対面

出席者：(統括本部)寺井会長、河津副会長、近藤副会長、田沼副会長、寺沢専務理事、西村常務理事、齊藤常務理事、中川技術士制度検討委員長、長崎技術士資格活用委員長、(地域本部長)大熊(北海道)、熊谷(東北)、平田(中部)、田岡(近畿)、大田(中国)、古野(四国)、佐竹(九州)

北陸本部：平野本部長(議長)、西潟事務局長(書記)

【議事】

1. 統括本部報告

(1) 令和3年度技術士第一次試験受験申込状況

申込者数 22,753名(R2:19,008名)、うち女性申込数 3,278名(R2:2,558名)で、前年より増加している。R3 予算では 22,000名を見込んでおり、ほぼ同数となっている。

(2) 技術士制度検討委員会報告

同委員会に CPD 検討、IPD 検討、法的検討の各チームを立ち上げた。このうち、CPD 検討チームでは新システム推進のための広報戦略を提案することとなっている。

また、今後、各地域本部及び部会を対象とした説明会を予定している。

新制度の周知活動案としては、現在のところリーフレットの郵送(全技術士)、広報ビデオ作製しHPに掲載(一般向け)、ガイドライン・マニュアル等のHP掲載(一般向け)等を想定している。

(3) 技術士 CPD 活動実績管理事業の推進体制に伴う新たな委員会の設置及び委員の委嘱

本年4月、文科大臣通知を受け、表記管理事業を担うこととなり、「技術士 CPD ガイドライン」

を作成報告し、了承された。それに伴い、技術士 CPD 実績管理委員会を設置し、関連する研修委員会の所掌事項の一部を変更した。

委員会の主要な業務は、①技術士 CPD 活動実施状況の技術士分科会(文科省)への年次報告、②技術士 CPD ガイドライン及びマニュアルの管理、③ CPD 活動関連学協会連絡会の運営、④ CPD 登録内容の審査とする。

また11名(高木前会長を含む)に委員を委嘱した。

(4) 委員会運営に関する規則の変更

前記 CPD 実績管理委員会の設置に伴い、研修委員会の所掌事項の一部を変更し、CPD 活動推進の企画及び関係行事の実施、関係学協会との連携などを追加した。

(5) 統括本部事務局に関する規則の制定

統括本部事務局に技術士 CPD センターを設置し、技術士 CPD 管理部を設けて、文科大臣通知に基づく事務取扱を行うこととした。

(6) 技術士活用委員会報告

同委員会幹事会議事録報告として産業界活用促進、公的活用促進、国際活用促進の各チームの活動報告があった。同委員会では委員長が交代となったが、従来の活動を引き続いて積極的に継続することが確認された。

(7) 2021年技術士全国大会(創立70周年記念)開催概要

予定通り11月26日(金)に記念式典、記念講演、交流会などを開催することが確認された。ただし、今後のコロナウイルス感染拡大状況を注視し、最終判断を10/20頃とすることとした。

(8) 部会会計の法人会計への統合に向けた具体的作業のお願い

部会会計の法人会計統合に当たっての部会への依頼事項(預金通帳のコピー、手許現金など)の報告があった。

## 2. 地域本部関係【審議事項】

### (1) 講演会及び見学会開催補助費運用規則の再審議 (中国本部)

講演会及び見学会等開催補助費運用規則(2021.05.11 理事会変更承認)について、遠隔会場で集合視聴する場合は、一律の参加費とすることなく、地域本部の裁量で会費設定ができるようにしてもらいたい。

(統括本部)本規則は種々の問題解決をしてからの運用ではなく、コロナ禍を鑑み早期のWEB講演をスタートさせた背景があり、現実的には集合視聴が少ないと想定していた。参加費1,000円は一律ではなく目安の金額であり、各部会によって講演会の都度決めるものとなっている。集合視聴での会費の考え方について、他の地域本部にも聞き、その結果を企画委員会に報告して、地域本部からの意見を共有していきたい。

## 3. 地域本部関係【意見・要望等】

### (1) 新たな技術士CPD制度の周知活動について(北海道本部)

過日、北海道本部主催にて説明会を開催したが、本来であれば統括本部主導で周知活動を企画すべきと考える。今後、全国的にどのような周知活動を行うのか、また統括本部の組織整備についても教えてもらいたい。

(統括本部)技術士検討委員会により周知活動の体制と計画を立てている。

### (2) 新合格者の入会金と年会費の減免制度について (北海道本部)

新規合格者の初年度年会費無料キャンペーンは現在も継続されているか。継続中であれば、年代別減免制度との関係はどのような扱いになるのか教えてほしい。

(統括本部)継続しており、年代に関わりなく年会費が無料となる。

### (3) 更新制導入について(中国本部)

更新制導入は国際的に伍していくために必要であることは理解できるが、他の要素はあるのか。更新制導入のためには、CPD活動実績簿作成(活動実績証明書発行)を技術士全体の50%以上と

するなど、数値目標の設定が必要ではないか。

(統括本部)活動実績は毎年文科省に報告する。CPD普及率を高めていかないと更新制度の導入にはつながらないので、CPD活動については一層努力していきたい。また、国際的には継続研鑽がPEの必須条件であることも周知していきたい。

### (4) 地域産学官セミナーの開催方式について(近畿本部)

新型コロナウイルス対応等による開催方式について、各本部から意見を聞きたい。

(統括本部)開催地の地域本部判断に一任している。

(地域本部)当面はWEB、ハイブリットでの開催が主流だが、今後は対面方式も含めて検討していきたい。

## 4. 地域本部関係【報告】

各地域本部長より配布資料に基づき行事等開催状況及び開催予定などについて報告があった。

北海道本部からは、ほとんどの行事がWEBと会場のハイブリットで開催したことを報告した。

また、新たな技術士CPD制度説明会をYouTube配信とZoomで開催し、370名の視聴が確認されたが、見逃した技術士のためのビデオを講師了解のもとで作成し、HPに掲載することとしたことを報告した。

### 2021年度 第3回地域本部長会議

日時：2021年12月8日(水)14:00～17:00

場所：WEB方式(Teams)+対面

出席者：(統括本部)寺井会長、河津副会長、近藤副会長、田沼副会長、寺沢専務理事、西村常務理事、齊藤常務理事、(地域本部長)大熊(北海道)、熊谷(東北)、平野(北陸)、田岡(近畿)、大田(中国)、古野(四国)、佐竹(九州)

中部本部：平田本部長(議長)、山口事務局長(書記)

**【議事】**

**1. 統括本部報告**

(1) 行事予定について

来年 6 月の定時総会までの行事予定が示された。現状ではすべて(総会を除く)WEB 開催を予定している。しかしながら、WEB 方式での伝達は可能だが、場の雰囲気を感じることができず、連帯意識が希薄になっていると感じる。今後は状況を判断して、2 月くらいから対面方式に切り替える予定。

(2) IEA の GA/PC 第 4 版の翻訳のための合同委員会への参画について(理事会議事)

IEA(国際エンジニアリング連盟)は、APEC エンジニアなどの協定、JABEE 認定などの基となるワシントン協定を束ね、世界的な人材育成の標準化による学生や技術者の流動性を先導する連合体である。

IEA は 2005 年に初めてコンピテンシーを指標した GA/PC(学生の学習到達目標と専門職資格の資質能力)を定めたのち、技術士コンピテンシーも 2014 年に定められた。

GA/PC は現在では 91 か国と 11 の地域連合が所属し、WFEO(世界工学団体連盟)が SDGs 対応を追記した文書第 4 版は、本年 6 月の IEA 総会で採択された。

このたび、国立教育政策研究所、日本技術士会、JABEE が共同委員会を設立し、当会から IPD・WG 委員 4 名が参加することとなった。

(3) 令和 3 年度技術士第二次試験筆記試験結果について(理事会議事)

技術士第二次試験は現在、口頭試験が実施されているが、筆記試験の受験者及び合格者数は以下の通りであった。

受験申込 29,828 名(R2: 25,603)、受験者数 22,903 名(同 20,365)、筆記合格者 2,884 名(同 26,56)、筆記合格率 12.6%(同 13.0%)

なお、R4 試験日は二次試験 7 月 17・18 日、一次試験 11 月 27 日を予定している。

(4) 統括本部委員会委員推薦の検討状況について

統括本部委員会及び部会への地域本部からの参

加について、現在検討を進めている。

現在、地域本部からは 1 名の常設委員会参加が認められているが、地域からより多くの委員会への参加希望が寄せられており、部会の考え、地域本部の考え、統括本部委員会の考えを整理して、検討課題を抽出しているところ。

従来は常設委員会の参加には交通費が主給されているが、オンライン会議の活用なども想定される。ただ、部会活動における関東甲信と地域本部所属会員の違い、部会と地域の二重性、推薦された委員の負荷なども想定され、地域本部と統括本部委員会(または部会)の関連性を明確にする必要がある。

本件については、組織改革との関連もあることから、並行して検討していくこととなる。

**2. 地域本部関係【審議事項】**

なし

**3. 地域本部関係【意見・要望等】**

(1) 技術士 CPD 行事の非会員配信に向けた検討状況について(北海道本部)

(統括本部)本制度はスタートしたばかりなので、状況を注視しつつ、今後の対応を検討していきたい。

(2) 技術士 CPD 行事参加票の参加証明への変更について(北海道本部)

現在、技術士 CPD「参加票」を「参加証明」に切り替える検討をしていると聞いているが、その必要性、事前記載の事務、受講確認、今後の CPD 登録の際の添付の可否など、地域本部の意見も聞いて検討を進めて頂きたい。

(統括本部)技術士会非会員が技術士会の CPD 行事に参加し、他の機関で CPD 登録をする場合、エビデンスが求められる場合があるため、技術士会(CPD)も対応可能か検討することとした。

事前記載については、現状でも講師依頼の際にテーマ等をお伝えしているので、実質的には事前審査がなされていると理解している。

WEB 視聴の際の受講確認については現在、建設系 CPD 協議会でも最大の懸案事項となっており、技術士会もそれと並行して検討していく。な

お、技術士会の CPD 登録は当面現状維持の予定。

地域からの意見聴取については、今後のスケジュールの中で適切な時期に行っていく。

本件は制特委から研修委へ検討要請があったものであり、現在検討を始めたばかりなので、今後各方面の意見を集約し、都度報告していく。

#### (3) 会員名簿のリスト公開について(東北本部)

現在の「会員情報 WEB 名簿検索」は活用しにくいいため、地域本部、県支部単位に Excel で閲覧できるようにしてほしい。

(統括本部)改善を検討中で、できるだけ早く対応したい。

#### (4) 若手技術士入会に向けたパンフレット作成依頼(中国本部)

会費減免が会員増加につながっていないように感じている。今後強力に入会勧誘するためのパンフレットを作成してほしい。

(統括本部)現在の技術士会パンフレットを活用してほしいが、改善について関係委員会と協議する。

#### (5) 協賛団体への月間「技術士」配布について(九州本部)

九州本部では協賛団体に「技術士だより・九州」を年間 4 回配布しているが、更なる会員拡大の一環として月刊「技術士」を配布してもらえないか。

(統括本部)現在、各地域本部には数冊配布して供覧に使用してもらっているが、要望(必要部数)があれば配布は可能。ただし、戸別配布は各地域本部で行ってほしい。

#### (6) 新たな CPD 活動実績登録の非会員への周知について(中部本部)

文科省通知では「すべての技術士に対して本件の通知を函る」とされているが、非会員への具体的な周知が課題となっている。特に中部では非インフラ系技術士も多いことから、魅力的な制度であることを理解してもらえるパンフレット等の整備をお願いしたい。

(統括本部)CPD 広報のためのタスクフォース(研修、広報、総務、企画、制特委)を作っており、はがき、リーフレット、公共調達機関・経団連な

どへの説明等を行っている。

#### (7) IEA の GA/PC 翻訳のための合同委員会に関する地域のかかわりについて(中部本部)

同委員会の設置は意義が大きいと思うが、地域組織としてこの委員会とのかかわり等があれば教えて頂きたい。

(統括本部)同委員会は発足したばかりで技術士会からも 4 名の委員を出しているため、現在のところ委員会内での作業と考えている。状況が変われば連絡する。

### 4. 地域本部関係【報告】

各地域本部長より配布資料に基づき行事等開催状況及び開催予定などについて報告があった。

北海道本部からは、ほとんどの行事が WEB と会場のハイブリットで開催したことを報告した。

なお、来年 2 月 22 日開催予定の地域産学官と技術士との合同セミナーについては、主催者代表の出席者を検討中とのことであったが、できれば寺井会長に対面参加でお願いしたい旨を依頼した。

## 理事会報告(羽二生理事)

### 2021 年度 第 3 回理事会

日時：2021 年 9 月 8 日(水) 14:30 ~ 17:00

場所：WEB 会議(Teams-online)

#### 【審議事項】(抜粋)

#### 1. 技術士 CPD 活動実績管理事業に関わる委員会等の設置・委員の委嘱

CPD 実績管理事業の総括的管理を目的とした「技術士 CPD 実績管理委員会」の設置が承認された。委員は、CPD 活動関係団体や部会長または部会長推薦者等で CPD 活動に知見を有する者を会長が理事会に諮って委嘱された(メンバーは 11 名、任期は 2023 年 6 月まで)。委員会は原則年 1 回開催とするが必要に応じて適宜開催し、参加に CPD 審査 WG を設置する。主な業務は、①技術士 CPD 活動実施状況を技術士分科会へ年次報告、② CPD ガイドライン及び管理運営マニュアルの管理、③ CPD 活動関係学協会連絡会の運営、④技術士 CPD 登録

内容の審査(研修委員会から移管)。

## 2. 事務局組織体制の変更

日本技術士会が新たに担う技術士 CPD 実績管理事業の実務面を担当する事務局組織として「技術士 CPD センター」を設置し、傘下に「技術士 CPD 管理部」を置くことが承認された。

## 3. ワーキンググループの設置関連

- ・倫理委員会に新たに「倫理綱領関係規定改訂 WG」の設置承認(メンバー 8 名)
- ・研修委員会の「IPE (初期専門能力)WG」の第三期継続承認(メンバー 15 名、学識 2 名)
- ・社会委員会の「工事監査支援 WG (2013 年発足)」の継続承認(メンバー 9 名)
- ・男女共同参画推進委員会「男女共同参画学協会連絡会 WG (2002 年発足)」の継続承認(メンバー 7 名)

## 4. 委員委嘱関連(APEC エンジニアほか)

- ・APEC エンジニア審査委員会委員及び委員長委嘱(委員 13 名の内、佐々木聡委員長(国際委員長兼務))
- ・IPEA モニタリング委員会委員及び委員長委嘱(委員 10 名の内、岸本喜久雄委員長(東工大名誉教授))

## 5. 正会員の特別表彰推薦

倫理委員会からの推薦により、杉本泰治氏(化学部門(窯業)、名誉会員、1930 年 10 月生)が、黎明期からの長年にわたる技術者倫理の研究、普及啓発における多大な功績が認められ、社会的にも大きな評価を受けている(2004 文科省大臣表彰受賞; 科学技術功労者)ことから、2021 年度の特別表彰者とされた。(→今年の技術士全国大会(70 周年記念)で授賞式が行われた。)

## 6. 会員の入会等(2021 年 5 月末 → 6 月末 → 7 月末の会員数)

- ・正会員(15,662 → 15,847 → 15,931)
- ・準会員( 3,158 → 3,138 → 3,141)
- ・会員計(18,820 → 18,985 → 19,072)
- ・賛助会員(151 → 151 → 151)

## 【報告事項】(抜粋)

1. 2021 年度一次試験受験申込状況(2020 年度 → 2021 年度の動態)

◆全体(19,008 → 22,753)、◆東京(6,320 → 7,735)、◆北海道(857 → 1,018)

2. 2022 年度事業計画・収支予算(案)策定の基本方針

正会員数のゆるやかな増加傾向の継続と共に、各種の経費削減の着実な実施効果により、収支状況は改善傾向にある。しかしながら、新規合格者を対象とした初年度年会費減免制度の継続、また 2021 年度から開始した入会者拡大と退会者抑制を目的とする年代別年会費減免制度の実施については、会員増への効果などを十分に見極める必要がある。

また新型コロナウイルス感染拡大を契機とした社会の変化に対応するとともに、会員の利便性の向上に資することを目的に策定された新たな CPD 事業の形態(ウェブ配信を前提とした CPD 講演会の実施等)が、着実に推進されるよう支援を行うこととする。よって 2022 年度事業計画及び収支予算の策定に当たっての基本方針は、以下の通りとする。

### ◆会員事業(一般会計)

- ①これまで本会組織が定常的に継続してきている事業に関わる経費は、2021 年度予算を上限に実施状況を勘案した運用とする。
- ②各組織が新規に企画する事業についての経費支援は、その詳細計画が立案された時点において、その必要性、費用対効果等審議の上、個別に判断することとする。
- ③部会、委員会や地域組織による講演会の WEB 配信や収録活動など、コロナ禍での会員の CPD 実施強化につながる事業への支援を行う。
- ④会員や本会組織による会員拡大活動や現役若手世代による CPD 活動の他、理科教室等支援活動や防災支援活動など知名度向上にも寄与する社会活動の推進には、引続き積極的な支援を行う。
- ⑤組織改革委員会等個別規程に基づく委員会の検討内容については、その検討状況を踏まえ、財政面から必要な支援を検討する。

⑥会員拡大傾向の定着を確固たるものとすべく、引き続き会員増、退会抑制に資する諸施策や年会費制度の検討を継続する。

#### ◆技術士試験、登録事業(特別会計)

技術士試験、登録事業は、2019年度は一次試験の再試験実施、2020年度は二次試験の実施延期、2021年度も受験申込者数の低迷や新型コロナウイルス感染防止対策による経費増などにより、財政面においては近年にない悪化状況に陥っている。2022年度事業計画及び収支予算の策定に当たっては、経費の見直しとともに、受験者数の増加を目的とした技術士試験制度普及や広報活動を積極的に推進し、財政面の安定を図ることが求められる。

#### ◆技術士 CPD 活動実績管理事業(2021 は暫定的に一般会計からの貸借で運用)

新たに文部科学大臣通知に基づき本会に指定された技術士 CPD 活動実績管理事業については、関係行政機関との調整を行うとともに、的確かつ円滑な事業推進が可能となるよう事務局機能の強化も含め、2022年度事業計画及び収支予算の策定を行う。

#### 3. 技術士 CPD ガイドライン及び技術士 CPD 管理運営マニュアルの変更

それぞれ、最新版 Ver.1.1 (2021.9.8 版)に改訂。詳しくは HP に掲載している。

#### 4. 常設委員会等報告

《地域本部に関連する Topics を抜粋》

- ・研修委員会：技術士 CPD 活動に対する多様な研修の支援として、①全ての技術士が利用できる eラーニングの受講システムを構築する。②研修委員会及び CPD 支援委員会は、技術士 CPD 行事を主催する各部会等の協力を得て eラーニングのプログラムの充実を図る。③全ての技術士が容易に技術者倫理に取組めるように倫理委員会の協力を得て技術者倫理に関するプログラムを作成して eラーニングで提供する。

※現在、上記(1)の CPD プログラムは計 697 個(2006 年 1 月～2021 年 7 月：直近 5 年間計 215 個)。そのうち「倫理」に係る CPD プログラムは計 42 個(直近 5 年間計 19 個)である。

## 2021 年度 第 4 回理事会

日時：2021 年 11 月 10 日(水) 14:00～17:00

場所：WEB 会議(Teams-online)

#### 【審議事項】(抜粋)

#### 1. 技術士 CPD 実績管理委員会技術士 CPD 審査ワーキンググループ員の委嘱

7 名のメンバー(個人技術士事務所 4、民間会社 2、特許庁 1)の委嘱が承認された。

#### 2. フェロー制度の運営に関する規則の変更

文部科学大臣通知に基づき発足した新たな技術士 CPD 実績管理事業において「技術士(CPD 認定)」が行われることに伴い、これまで本会独自に正会員を対象に運用してきた CPD 認定会員制度は一定の役割を果たしたものとして、新規及び更新申請の受付は終了することとなった。このことにより、CPD 認定会員であることを要件の一つとしていたフェロー制度において、技術士(CPD 認定)であることも要件に加えることとする

#### 3. 会員の入会等(2021 年 7 月末 → 8 月末 → 9 月末の会員数)

- ・正会員(15,931 → 15,989 → 15,980)
- ・準会員( 3,142 → 3,148 → 3,150)
- ・会員計(19,073 → 19,137 → 19,130)
- ・賛助会員(151 → 152 → 152)

#### 【報告事項】(抜粋)

#### 1. 「新たな技術士 CPD 広報に関するタスクフォース」の設立

新たな技術士 CPD 活動実績の管理及び活用制度]が 9 月よりスタートした。これに関しての文部科学大臣通知(2021 年 4 月 26 日付け)では、「全ての技術士に対して本件の通知を図る」ことが記されている。これに基づき会員、非会員を問わず早急にかつ継続的に広報活動を通じて周知し制度活用拡大に繋げる必要があり、そのために必要となる広報活動を立案、提言するタスクフォースを設立する。具体的活動としては、①技術士(会員非会員問わず)に対する総合的な広報戦略の立案、②①に基づく具体的な広報活動立案、③広報ツールの立案、④活動実施状況の把握・分析と展開策立案、を挙げている。

メンバーは、河津副会長を代表とした6名で構成され、毎偶数月に開催される。

## 2. 月刊「技術士」制作の手引き制定について

従来公表されている月刊「技術士」投稿の手引き、月刊「技術士」編集の手引き、非公表の編集マニュアルを統合・補完して、月刊「技術士」制作の手引きを制定する(11/10付けIPEJ15-0-2021)。

## 3. 常設委員会等報告

《地域本部に関連するTopicsを抜粋》

・技術士制度検討委員会：技術士CPD実績管理登録状況の報告→HPに掲載されているので参照のこと。

### 2021年度 第5回理事会

日時：2022年1月12日(水)13:00～15:30

場所：WEB会議(Teams-online)

#### 【審議事項】(抜粋)

##### 1. 委員会委員等の異動について

技術士資格活用委員に新たに2名のメンバーの委嘱が承認された。

##### 2. 会員の入会等(2022年10月末→11月末の会員数)

- ・正会員(15,962→15,990)
- ・準会員(3,148→3,165)
- ・会員計(19,110→19,155)
- ・賛助会員(152→152)

#### 【報告事項】(抜粋)

##### 1. 令和4年度技術士試験日程について

###### 《第一次試験》

- ・申込：2022/6/16～6/29
- ・筆記試験：2022/11/27
- ・合格発表：2023/2月予定

###### 《第二次試験》

- ・申込：2022/4/4～4/18
- ・筆記試験：総監部門(必須科目)2022/7/17  
総監以外・総監部門(選択科目)2022/7/18
- ・筆記試験合格発表：2022/11月予定
- ・口頭試験：2022/12月～2023/1月
- ・最終合格発表：2023/3月予定

## 2. 2021年度技術士全国大会(創立70周年記念)開催結果(速報)について

《11/25分科会(第1～5分科会)：機械振興会館》

- ・参加者数308名(会員=会場90+WEB216、非会員=WEB2)

《11/26大会式典・記念講演：東京パレスホテル》

- ・参加者数193名(会員のみ、WEB設定なし)

《11/26交流会・食事会：東京パレスホテル》

- ・参加者数130名(会員のみ)

《テクニカルツアー：筑波宇宙センターほか》

- ・参加者数35名(会員のみ)

※70周年記念大会の活動記録を作成する。

(2022/1月末現行メ切→2月下旬までに校正確認)

## 3. 組織改革委員会の検討状況報告と今後の方向性

委員会設立後、2つの小委員会(①ガバナンス適正化、②組織改革)を設置して、「統括本部の運営に関する規則(案)」、「倫理規定(行動基準案)」、「地域組織の活動支援制度面・設置面からの検討～主に関東甲信県支部関連」をアウトプットした。

今後は、日本技術士会の「経営理念」的な規範の策定、経営理念に基づく、組織運営規則の制定並びに地域組織の再構築と役員選出選挙制度の改正等について検討する方針である。

## 4. 技術士CPD広報タスクフォース検討状況について(前回報告からの進捗内容)

- ・非会員への周知については、メールアドレスが把握できている者(①登録者調査時、②合格発表時)に対して、パンフレット2種とHPのURL告知を発信
- ・各部会チャンネルからHPのURLを紹介
- ・技術士CPD登録促進のキャンペーンとして「登録手続き費用等の割引」を実施し、その内容は同報メール(アドレス把握の非会員含む)、HP、月間PE、賛助会員企業への説明等でPRする。

## 5. 技術士CPD実績管理登録状況について

技術士CPD活動実績簿への記載申請数(2021年12月末時点・( )内は技術士CPD認定数)は、正会員409名(122)+非会員15名(8)=計424名(130)、部門別では建設209名(50)、総監204

名(49)が多く、他の部門は0～40名未満に留まる。

地域本部別では、北海道22名(7)、東北33名(9)、北陸9名(1)、中部53名(12)、近畿48名(12)、中国39名(13)、四国15名(2)、九州46名(11)、地域本部以外144(55)。

[以上]